

米国 カンダ・天候要因による下ぶれであり消費は拡大基調を維持

(07年4月小売売上高)

発表日：2007年5月11日(金)

～小売売上高のモメンタムはしっかり～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
			除く車		自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン
06/04	+0.9	(+6.8)	+1.0	+0.4	+0.8	▲0.4	+0.2	+1.4	+1.7	+5.2
06/05	+0.1	(+7.4)	+0.7	▲1.5	▲2.0	+0.6	▲0.0	+1.0	+0.1	+2.3
06/06	▲0.5	(+5.0)	+0.0	▲1.7	▲2.4	+1.0	+0.1	+0.3	+0.6	+0.1
06/07	+1.3	(+4.6)	+0.6	+2.6	+4.2	+0.2	+0.8	+0.7	+1.2	+1.7
06/08	+0.1	(+6.3)	+0.2	▲0.2	▲0.3	+0.4	+0.3	+0.0	▲0.4	▲1.1
06/09	▲0.6	(+5.4)	▲1.0	+0.1	+0.7	+0.5	+0.2	▲1.3	+2.8	▲9.6
06/10	+0.0	(+4.9)	▲0.2	+0.3	+0.9	▲1.0	▲0.9	▲0.3	▲1.2	▲4.5
06/11	+0.3	(+4.5)	+0.5	+0.1	▲0.1	+0.1	+3.4	+0.6	▲0.7	+3.2
06/12	+1.1	(+5.6)	+1.1	+0.9	+1.1	▲0.1	+1.3	+1.0	+1.1	+3.7
07/01	▲0.0	(+2.2)	+0.2	▲0.4	▲0.8	+2.0	▲1.6	+0.4	+2.8	▲0.0
07/02	+0.6	(+3.6)	+0.5	+0.4	+0.8	▲0.1	+0.4	+0.9	▲1.7	+1.6
07/03	+1.0	(+4.4)	+1.1	+0.5	+0.4	+1.0	▲0.8	+1.2	+2.2	+3.2
07/04	▲0.2	(+3.2)	▲0.0	▲1.0	▲1.0	+1.2	+0.7	+0.2	▲2.0	+1.7

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

自動車を除く小売 売上は前月比▲0.2% と失速

07年4月の小売・飲食サービス売上高は、前月比▲0.2%と前月の同+1.0%から失速し市場予想の同+0.4%を下回った(2、3月合計で0.4%上方改定)。項目別にみると、耐久財では家電がプラスに転じ、家具がプラス幅を拡大した。一方、自動車が減少したことから、耐久財は減少に転じた。

非耐久財では通信販売が増加した。一方、天候が前月の温暖なものから一転悪化したことを受け建設資材、衣料品販売、飲食店売上が減少に転じた。加えて、ガソリンスタンド売上が減速したため非耐久財全体でもプラス幅を縮小した。

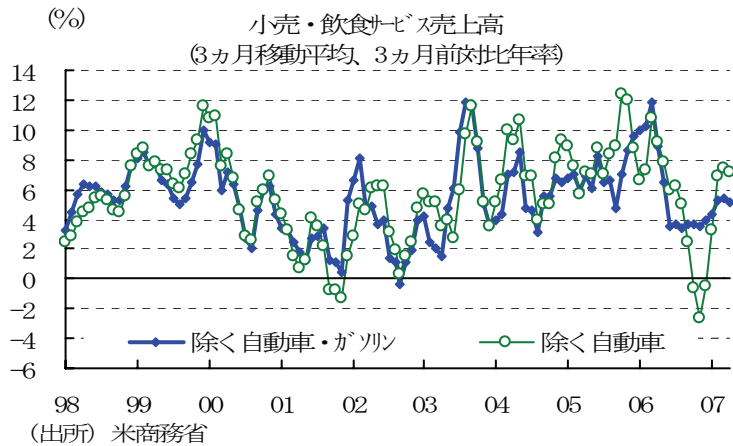
変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は建設資材、衣料品、飲食店の減少によって前月比+0.0% (前月同+1.1%) と前月から減速した。市場予想の+0.5%を下回ったものの、2、3月合計で0.4%ポイント上方改定されており概ね市場予想通りの結果といえよう。

全体からガソリンを除いた小売・飲食サービス売上高は前月比▲0.4% (同+0.8%+0.4%から上方改定) とマイナスに転じた。

以上のように、4月の小売売上高 (除くガソリン) はエネルギー価格の上昇に加え、イースター休暇が昨年よりも8日早かった反動、天候の悪化などの一時的な要因で押し下げられた。さらに、良好な雇用・所得環境、株式資産残高の増加が続いていることから、5月には再び拡大すると予想される。

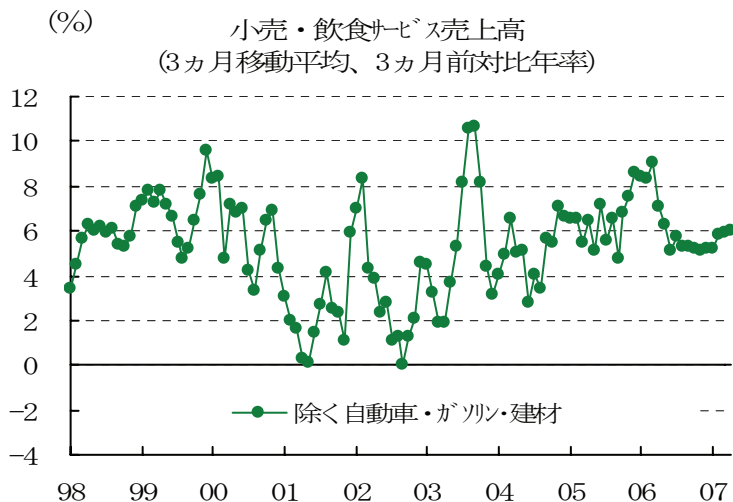
小売売上高は堅調さを維持

3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は+7.1%（前月+7.4%）と高い伸びを維持した。これはガソリン販売が価格の上昇により3月に高い伸びとなった影響が含まれている。このようなガソリン価格変動の影響を除くために自動車・ガソリン販売を除く小売・飲食サービス売上高をみると、4月に+5.1%（同+5.4%）と高い伸びを維持しており、消費は堅調さを維持していると判断される。

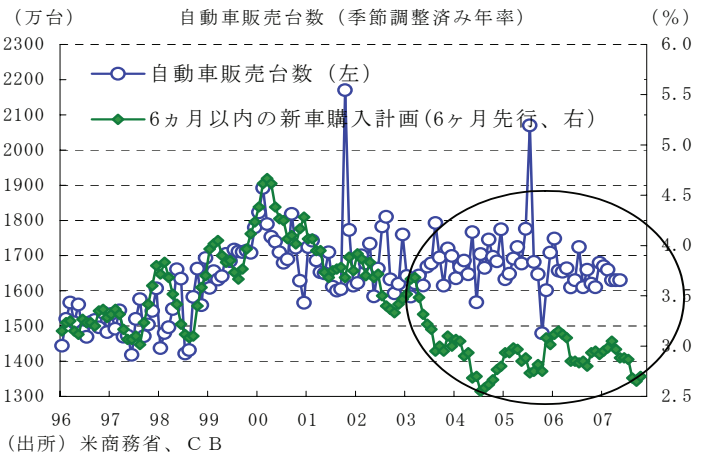
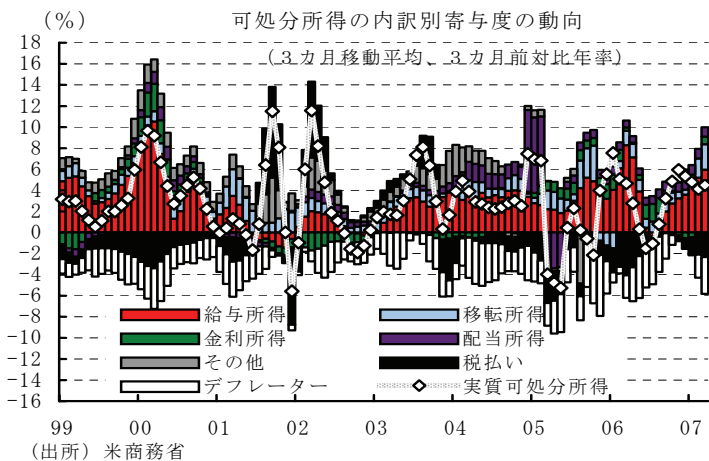
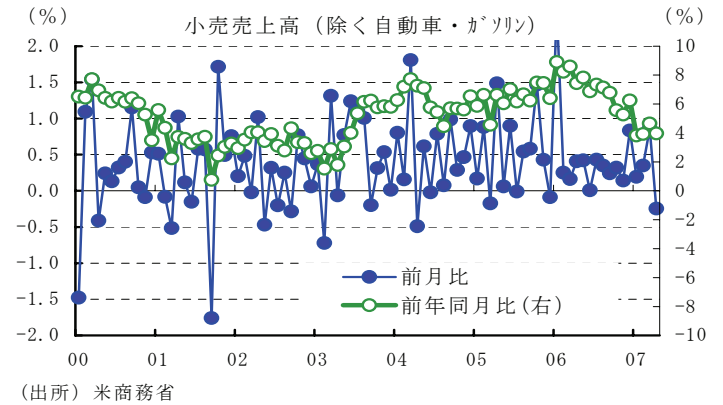
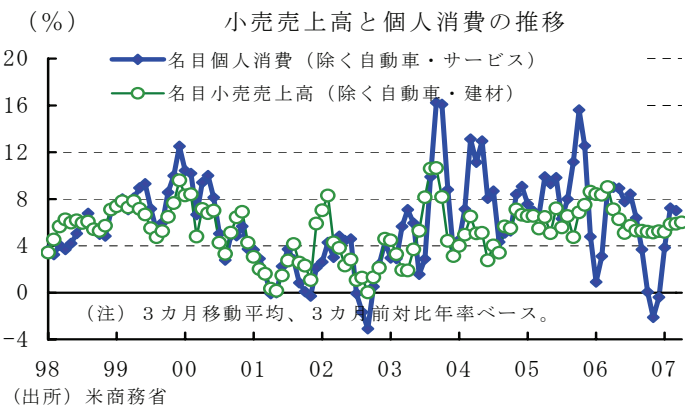
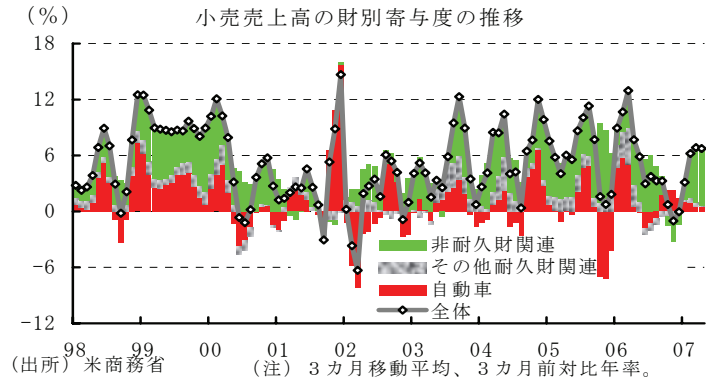
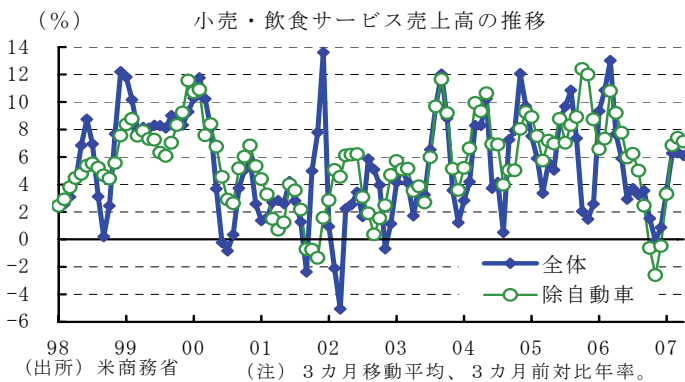
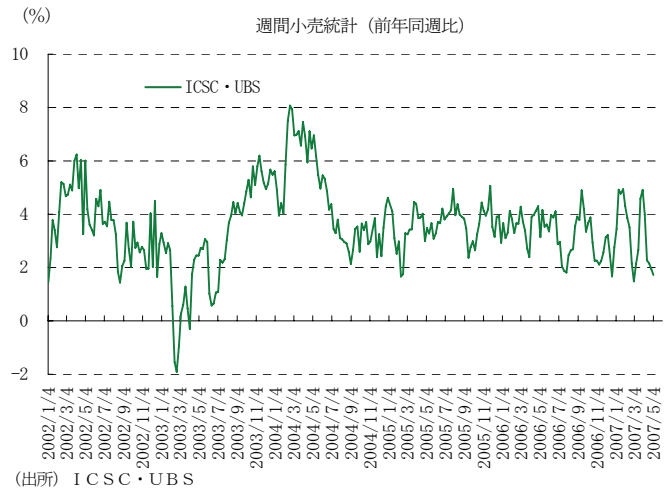
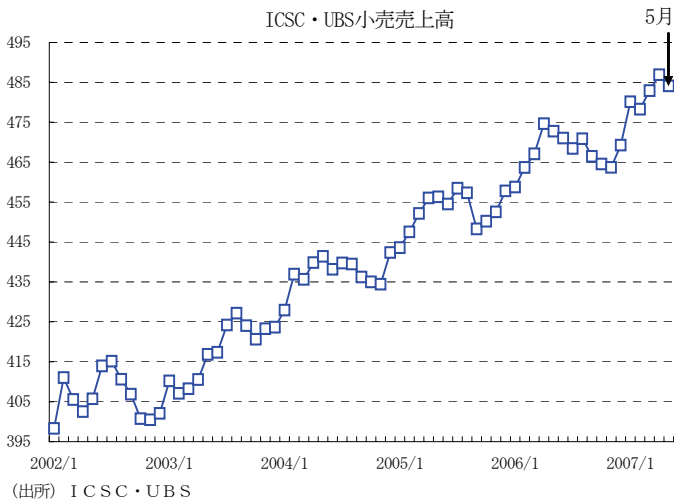


小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+6.0%（前月+5.9%）と高い伸び

GDPベースの個人消費算出に使われる小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、4月に前月比+0.0%（前月同+0.8%：速報同+0.3%から上方改定）と横ばいとなったが、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+6.0%（前月+5.9%）と高い伸びを維持している。2007年1～3月期の実質個人消費は過去の数字の上方改定により、速報の前期比年率+3.8%から同+4.1%程度に上方改定される見込み。同時に4～6月期へのマイナスのゲタもなくなる可能性があり、4～6月期の実質個人消費は前期比年率+2.0%弱の伸びが予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。